

## 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）活性化について

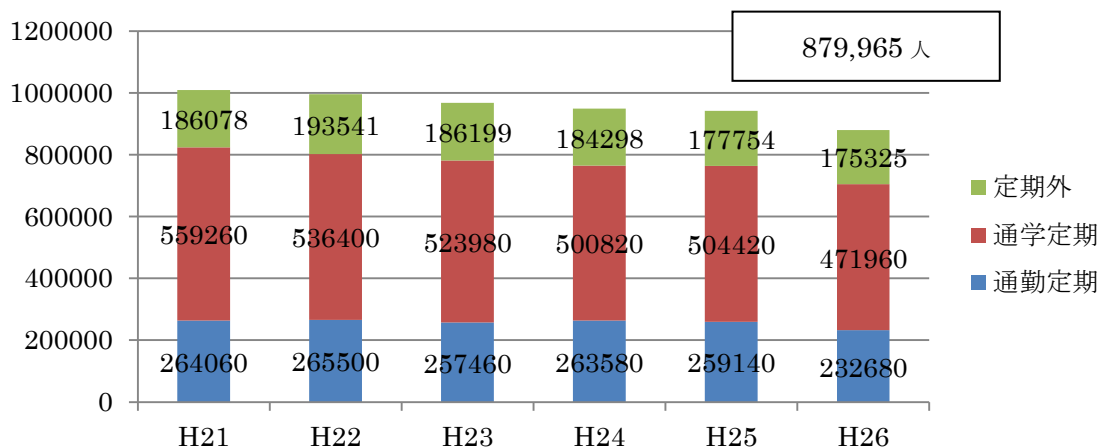
名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）は御嵩町、可児市、八百津町で平成 22 年から名鉄広見線活性化協議会を組織し、名古屋鉄道株式会社に対して運営支援を行いながら、3 年毎に「名鉄広見線活性化計画」を立て、利用促進事業を展開しています。

活性化計画は 3 年を計画期間とし、1 期目の 22 年～24 年については、通勤通学者を対象に利用者の増加を目指しましたが、利用者の減少傾向は止まらず、平成 22 年度には年間利用者 100 万人を割り込み、利用者増へと転じることはできませんでした。2 期目となった 25 年～27 年については、平成 24 年度の全利用者数を維持すると目標を立て、利用促進事業を行っていましたが、維持することができませんでした。

このため、3 期目となる 28 年～30 年の活性化計画では、これまでの通勤通学利用者の増加目標に加え、観光客等の地域外からの利用者の増加も目指すこととし、更に活性化協議会の各関係団体の役割と利用促進事業の実施計画を明示することにより、各団体が各々に目標達成に向けた利用促進策を実施できるようにしました。

また、平成 27 年 11 月 2 日付で名鉄、御嵩、可児、八百津の 4 者により「名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の運営に関する協定書」が締結され、平成 28 年度から平成 30 年度までの 3 年間の運営継続が決定されました。

### 【名鉄広見線利用者数推移】



※平成 27 年度は集計中のため提示できません。

#### 平成 27 年度に協議会が実施した事業

- 補助事業…運賃に対する補助を行い、利用者増加を図るもの
  - ・回数券購入補助制度、団体利用運賃補助制度など
- イベント事業…広見線利用につながるイベントを開催するもの
  - ・エンセンクエスト、沿線駅七夕飾りなど
- 周知活動…広見線沿線イベント情報などを周知するもの
  - ・名鉄広見線活性化ニュースの発行

## 【平成 28 年～平成 30 年度名鉄広見線活性化計画 目標】

### ①地域外からの利用を増加させる

各団体によるイベントの開催や情報発信、観光資源の掘り起こしによる地域の魅力づくり等により、地域外からの利用者の増加を目指す。

⇒ 名鉄広見線沿線地域へ観光で訪れたいと思う人の割合  
11.3%を増加させる。

### ②地域内の利用促進を図る

継続的な利用が見込める地域内利用者に対して、定期券、回数券等の購入補助を行うとともに、各団体においては補助制度の周知を行うことにより、名鉄広見線利用者数の維持を目指す。

⇒ 地域内の利用促進を図る活性化策により目標とするカウント数  
10,430カウントを達成する。

### ③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める

名鉄広見線が市・町民にとって必要な社会インフラであり、未来に残していくべき資産であるという認識を高めるため、各団体が意識啓発活動を行うものです。

⇒ 名鉄広見線が存在する価値を重要と思う人の割合  
70.4%を増加させる。